

2021年9月7日

各位

地盤調査データ改ざん・偽装防止への取り組みについて

先日、報道機関等より地盤調査データの偽装問題が報じられました。本報道を受け、一般社団法人不動産検査保証機構（本部：東京都中央区東日本橋3丁目5番9号 五東ビル7階 代表理事：稗田 淳一、以下「REIWS」）においても、住宅関連サービスの健全・誠実な提供に寄与することを目的とする活動指針に照らし、憂慮の念を感じざるを得ません。

REIWSにおきましては、下記活動を通じ、さらなる安心・安全なサービスの提供に努めて参ります。

1. 安全を共有する団体「Report & Open」

会員各社の第三者による評価を公表。より客観的な指標を用いた、REIWS推奨業者によるサービスをお選び頂けます。

2. JIS A 1221 スクリューウェイト貫入試験方法への統一化

先日告知致しました通り、本年度中の移行期間を経て2022年1月1日よりREIWS会員が提供するサービスがJIS規格に準拠した基準に統一されます。また、地盤調査結果の生データの提供も積極的に推奨して参ります。

3. 地盤調査報告書への位置・測定日時情報の盛り込み

位置情報・時間情報を容易・簡潔、かつ公正に報告書に反映できる仕組みを積極的に運用して参ります。

本件についてのお問い合わせ先

REIWS 会員事務局 03-3661-1102

